西山地区
コミュニティ協議会だより
【（西風）令和５年度５月号】
発行：西山地区コミュニティ協議会
会長　中村史傳
令和５年５月 11 日発行
薩摩川内市下甑町瀬々野浦 1194
TEL　09969-5-0122
FAX　09969-5-0355

これからの行事（5 月の行事）

8 日	事務局会議　10：00
10 日	健康体操　13：30
11 日	ぽっちゃん会議　13：15
14 日	眼科・耳鼻科検診 13：15～長浜小
19 日	地区防災会議　18：30　避難所
20 日	行政相談 10：00～上甑老人福祉会館
21 日	薩摩川内市芸能祭
26 日	R５年度甑島縦貫道整備促進期成会総会
27 日	無料法律相談会　長浜地区コミ 11 時～15 時
〃	クルーズ船甑島寄港
29 日	48 地区コミ会長会議

再びコミ会長に就いて思うこと

中村史傳

会長職は、一期2年で辞退するつもりでおりましたが、意に反して再び拝命することになりました。

今瀬々野浦は歴史始まって以来、未曽有の人口減少、高齢化という危機に直面しております。このような時に、私のような者が果たして集落の行く末を見すえたカジ取りができるかという不安があるからです。集落人口は何とか70人台ぎりぎりのところです。おまけに０～15歳の人口ゼロという事態は将来的には集落の灯が消えてしまうのではないかという危惧があります。

瀬々野浦でテレビの高視聴率を誇るのは某局の「ポツンと一軒家」という番組です。瀬々野浦人がこの番組を見るのは、おそらく明日は我が身と思う危機感とそんな中でも家を守り余生を楽しみながら、生きている姿に自分を重ね合わせるところがあるからと推量します。

若い人 たちが、Ūターン、Jターン、Iターンしてくれたらなと願うことしきりでそれまでには何とか私たち「トシナモン（かってはニセーやオゴジョウたち）」がふんばっていきたいと思います。

また、住所は移さずとも一年の内長期にわたって滞在し、一緒に草刈りし、集落内の清掃にも行事にも参加してくださる方も少なからずおられます。これらの人々の存在が集落の活力となっていることは言うまでもありません。このような人が増えて下されば集落の灯はともり続けます。

コロナで実施できなかった敬老会、運動会、今年こそはやろうと意気込んでおります、

出郷者の皆さんにもどうぞ夏の帰省ばかりではなく、これらの行事や神祭りなどの時にも帰省されて、これらのイベントを一緒に手伝い、参加して打ち上げを楽しみませんか。

皆さんの故郷の現状をしっかり認識して故郷の来しかたを思いだし、行く末を語り合いましょう。

平成５・６年度 私達西山地区コミュニティ協議会役員・事業推進委員、主事、力を合わせて頑張ります。皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

総会を終えて、４月号で伝えきれなかったこと

○　宮野藏郎さんは健在です。幹事を退任と紹介しましたが相談役として役員会に残られます。長年の経験を活かした貴重な発言は重みがあります。

○　新シリーズが始まりました。故郷の方言はじめ伝統等を掘り起こします。シリーズ名は未定ですが６月くらいには命名します。投稿を含め、良い名称がありましたらご意見等をお寄せください。

助八古道に新名所

お清めの儀式を行っているところです

既に「青瀬コミュニティだより」でごぞんじのかたもおられるとおもいますが、多目的ステージが完成し、去る4月29日、小雨の合間をぬって、青瀬西山の代表が酒と塩でお清めの儀式を行いました。一番奥が、多目的ステージ、人がいるところがテーブルとベンチ、ブランコとタイヤもぶら下がっていますが、使用前に点検をお願いします。

楽しく集まれるところになればと思っています。カネヒ工務店の東一清さんに負うところが多く感謝！感謝‼です。

「カベダチ」か「カベタテ」か？

瀬々野浦の名所「沖瀬ナポレオン岩」の頂上の高さが122メートルに変更されたのは記憶に新しい。薩摩川内市になってからのこと。以前下甑村では127メートルと表記されていた。国土地理院は前から122メートルだった。

カベダチもTVに登場し名所になりつつある。当地瀬々野浦では誰もカベタテと呼ぶ人はいない。なぜカベタテなのかというと下甑村時代に編集された本によるらしい。その本には「壁立」と表記されかべたてとルビが打ってあるという。そもそも漢字の表記がいつごろからはじまったのかさえ分かっていない。地名は漢字の読み方ではなく、花名等と同様、正確にはカタカナの表記が望ましい。余談だが、立神は全国「タテガミ」「タチガミ」両方ある。

同じ本に「コシゼ」のことを「コシデ」と紹介していた。瀬々野浦では、岩の事を陸では「石」、海では「瀬」と呼んで「岩」という呼び方は無いように思う。

したがって「ロウソク岩」ではなく「ロウソクゼ」が正しい。

カメノテの事を「センモン」と呼ぶ。瀬の物という意味ではないかと思う。手打ては「セ」と言ったりする。意味を聞くとやはり瀬の物からきているらしい。

新シリーズ開始 2

〈シンヌーラふう・伝統文化等なくなりかけている故郷を発掘する〉

〈ひっちいあれる〉

雨が降ると「雨があいてきたが―」とか「雨があれとる」などという。「あれる・あるる」は古語「あゆる」が語源。古語辞典では①果実などが熟しておちる。②雨や雪・露などが落ちる。とある。この「あゆる」に「散る」が付いて、「散りあゆる」となり「ちいあゆる・ちいあるる」と訛る（なまる）。

それに接頭辞（せっとうじ）である「ひっ」がくっついて「ひっ散る」となり、これが「あゆる」と付いて「ひっ散りあゆる」で「ひっちいあれる」と訛った。鹿児島本土弁は「ひっちゃる」と縮まる。

―中村史傳―

〔季節の花〕ガンセキラン

5月2日林の中で偶然に見つけた。

ラン科

ラン属

名前の由来は茎がゴツゴツと岩のようであるからとのこと。